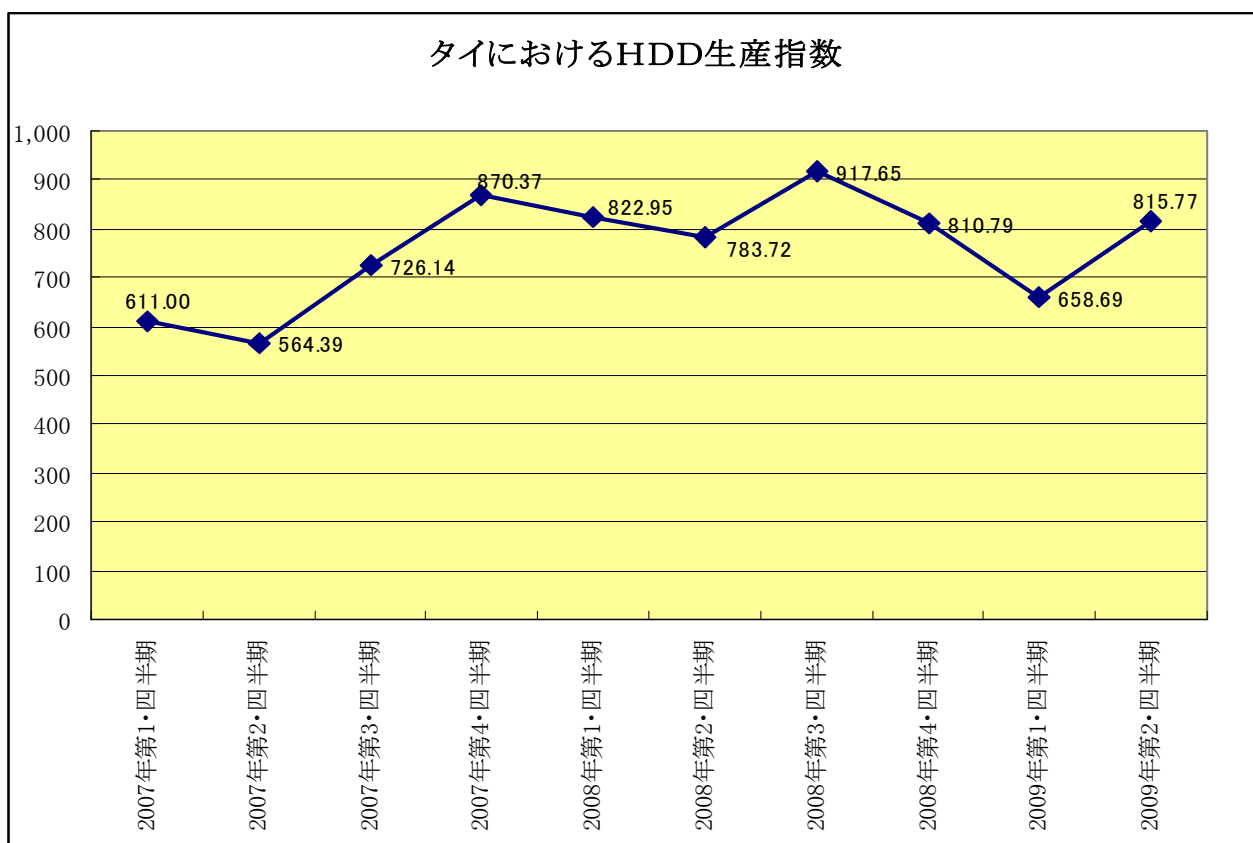


【バンコック駐在員事務所】

「回復の兆しが見られるタイのHDD製造業」

- 2008年に発生した世界同時不況の打撃を受け、タイの電子産業は大幅に落ち込んでいたものの、今年第2・四半期から回復の兆しが見られています。特に、ハード・ディスク駆動装置(HDD)製造業は他に比べ回復傾向が顕著となっています。世界各国の景気刺激策の効果の現れで、ノートパソコン・携帯音楽プレーヤー等向け需要が戻ってきており、今年4月以来HDDの受注は増え続けています。
- 生産動向でみると、受注と在庫補強のため生産を増強する動きも見られています。今年第1・四半期のHDDの生産指数(MPI)は前年同期比マイナス20.0%でしたが、今年4月から前月比では3ヵ月連続で上昇した結果、第2・四半期には前年同期比4.1%にプラスに転じ、HDD製造が全業種中最高の伸びとなりました。これを裏付けるように、ウェスタンデジタルや日立グローバルストレージテクノロジーズ(HGST)等の世界大手HDDメーカーはフル稼働体制移行や残業再開等に基づく生産増強計画を相次いで発表しています。受注増加が雇用動向にも反映されてきており、ウェスタンデジタルは5,000人の、HGSTは1,000人の追加雇用を発表、労働者の新規雇用が進み雇用情勢が改善しつつあります。



(生産指数:2000年を100とする)

【出所:タイ工業省、タイ中央銀行、BANGKOK POST 他、地元新聞記事より】

照会先:法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-5223-6672
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。 * 禁無断転載